

【面接官の印象】

1. 外国人面接官の印象

40才くらいか。男性。アジア系が入った英語を母国語として話す Native という感じ。最初のあいさつで 1. What is your name? (May I have your name? だったかも) と 2. Where do you reside? (たしか) と聞かれました。Live とかではなかったです。

2. 通訳ガイド

日本人。男性。30歳くらいか。(以前ボランティアの団体の会合でお目かけした事がある方でした。先方は私のことを覚えていないと思いますが)

【面接試験の実際】

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

TG: 現在日本で使用されている文字に表音文字であるひらがなとカタカナがあります。これらの文字は2世紀から3世紀に中国から伝わった漢字の一部を抜き出したり、簡素化して作られました。

(I: 自分のペンを使っていいかと英語で聞く。⇒TG: そこにある鉛筆を使って下さい。)

《自分の解答》

I: 表音文字=phonetic character とかを使って、文を切りながら訳せたと思います。私の記憶では最後にもう一文何かあった気がするのですが。試験直後、その部分に関して自分が書いたメモを読むことが出来ず訳せなかった、という記憶がありました。ただその内容は不明、また(既に他の方のレポートを他の機会で見ると)最後の一文、というのは無かったかもしれません。もう一つ、いやな記憶は、「中国から伝わった～」という部分に、ひらがな、カタカナが、と間違って訳してしまったかもしれないという記憶です。まさかこれはやっていないと思いますが。以上、もし訳もれ、訳し間違いなかったら、それなりの出来で終わっていると思います。

4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- ① 北陸新幹線
- ② 黒船
- ③ ハッピーマンデー

《選択したトピック》

『北陸新幹線』

《発表した内容》

いつ開業する、ルートはどこ、等の基本情報を最初に話した後、だいぶ早い段階で「金沢」に絞ってその観光について話し始めました。金沢の魅力、庭園や城、古い街並み、食事（シーフード）と織り交ぜました。

早口にならず割とスラスラ飛ばせたかなと思います。

5. 質疑応答について

NS	金沢までは東京から何時間で行けるのか？
I	2時間半くらいです。（プレゼン中に触れていたのに再度聞かれました。プレゼンを完全には聞き取ってもらえなかったのか、と多少不安になりました。）
NS	北陸新幹線の最終計画は？
I	最終的には大阪まで延ばしたいと思っているが、まだ具体的な計画になっていない。
NS	人々はなぜ京都でなく金沢に行くのか？（金沢が好きなのか）
I	京都も良い街だがよりこじんまりしていて、歴史や文化的なものが集まっていて旅行をするにも便利だから。
NS	金沢まで新幹線を延ばす（もしくは北陸新幹線の）メリットは？
I	より多くの観光客を期待でき、地域の活性化につながるから。
NS	金沢での食べ物は？
I	Seafood is the best!

6. 試験を終えての感想

通訳がどうだったかです。

プレゼンではゆっくり、笑顔、間、ジェスチャーを心がけ、確かにジェスチャーは出来たような。Q&A 含めた全体の流れは、自分としては良い感じだったと思うのですが。自分の実体験を入れられなかったかな。後は試験官次第ですかね。